

No.21-10

2021年3月4日
エーザイ株式会社

新型コロナウイルス感染症のケニアにおける検査体制の構築を支援

エーザイ株式会社(本社:東京都、代表執行役 CEO:内藤晴夫)は、このたび、アフリカで医療アクセス向上に取り組むヘルスケアスタートアップ企業である株式会社 Connect Afya(本社:兵庫県、代表取締役:嶋田庸一、以下「Connect Afya」)の子会社である CA Medlynks Kenya, Ltd.(所在:ナイロビ)がケニアにおいて進める新型コロナウイルス感染症の検査体制構築に向けた活動に賛同し、支援することを決定しましたのでお知らせします。CA Medlynks Kenya, Ltd.は、メルレー カウンティ*の協力のもと、現地における PCR 検査ラボの設立ならびに検査に必要な機器の調達、検査技師の訓練を支援するための活動を実施する予定です。

メルレー カウンティはケニアの 47 カウンティの一つで、東部州では最大となる約 135 万人の人口を有しています。ケニアでは、引き続き新型コロナウイルス感染症が拡大しており、メルレー カウンティにおいては、新型コロナ検査に必要な機器・設備、技師が不足しているため、検査サンプルを 200 キロメートル以上離れた首都ナイロビまで送付しなければならず、検査結果の確認に時間がかかることが課題となっています。本活動に対する支援により、メルレー カウンティにおける持続可能な PCR 検査体制を構築することで、同カウンティにおける正確かつ迅速な感染状況の把握や、感染状況を踏まえた対応策の策定に大きく貢献することが期待されます。

当社はアフリカ地域において新型コロナウイルス感染症の拡大抑制を支援するとともに、顧みられない熱帯病(NTDs)制圧の取り組みの遅延防止に貢献するため、1年間で1百万米ドル規模の支援を決定しています。すでに、感染症に対する臨床研究を実施している基幹病院への保護具(マスク、ゴーグル、フェイスシールド等)の提供や、ケニアにおける NTDs制圧のための集団投薬再開に必要なマスクとサニタイザーの提供を行いました。また、Amref Health Africa が開発し、医療関係者へのトレーニングなどを提供するモバイルヘルスプラットフォーム「LEAP」について、サハラ以南の国々における開発・普及を支援しています。

今回の Connect Afya への支援を含むこれらの支援を通じて、当社はアフリカ地域での新型コロナウイルス感染症の拡大抑制に引き続き貢献してまいります。

*カウンティ: ケニアの行政単位

以上

参考資料

1. Connect Afya および CA Medlynks Kenya, Ltd.について

株式会社 Connect Afya(本社:兵庫県、代表取締役:嶋田庸一)および、同社のケニア現地法人 CA Medlynks Kenya, Ltd. (所在:ナイロビ)は、医療インフラの制約が健康を享受する妨げとならず、全ての人が自分の人生をより良く生きたいという気持ちに忠実な社会の実現に向けて、ケニアにて臨床検査ラボおよび検査機器・試薬物流運営を行うスタートアップ企業です。2021年2月現在ケニア国内で30を超える医療機関・クリニック・企業等に対して新型コロナウイルスの逆転写PCR検査を含む検査サービス・検査試薬などの提供を行っています。